

レッツエンジョイ！おしゃべりのフオークダンス

日野高校生が地域住民とおしどりトーク



今度はどんなテーマ？代わる代わるの会話を楽しむ

当日は、日野郡内から事業所や行政関係者などさまざまな業種から29人が参加。入学したばかりの1年生29人と交流を深めました。気になるトピックテーマは、「今日の朝ごはんは？」「好きな食べ物は何？」といった身近な話題から、「はつどうじが出たらどうする？」「キャベツをむいたら何が出てくる？」など、少し風変わりな質問も。最初は緊張した面持ちだった高校生も、珍解答や共通の話題で盛り上がるうちに、すっかり打ち解け笑顔で会話を楽しんでいました。

日野高校と地域との連携を深めようと、5月14日、山村開発センターで、「おしどりトーク」が行われました。

これは、同校の授業「産業社会と人間」の一環として毎年行われているもの。高校生と地域の人が輪をつくって向かい合わせに座り、さまざまなテーマで会話を重ねていきます。高校生にとって、さまざまな世代の人と接すること、今後の進路学習を決めるきっかけづくりや、自分の考えを発表する成長の場にもなっています。

司会を務めた片平誓子日野高校魅力向上コーディネーターは、「これからの学校生活や地域活動でお世話になる地域の人と交流を深めることができたのでは」と話し、「地域の人にとっても、高校生の様子を知り、高校に親しみを持つ良い機会になった。お互いが協力し合って学校や地域を盛り上げていきたい」と、期待を寄せました。

高校生活3年間の中で、職場体験や課題研究など地域に出かける機会はたくさんあります。地域を知った高校生がこれからどのように成長していくのか今から楽しみです。

みんなで作ろう海藻米！

海の子&山の子交流会



植え方のコツを教える松本さん（中央）

境港市と日野町の小学校などで提供されている町産の海藻米を育ててみようと、5月18日、金持地内の水田で田植え交流会「海の子&山の子交流会（NPO法人未来守りネットワーク主催）」が行われました。

当日は、日野町（山の子）をはじめ、米子市や境港市（海の子）から合わせて約50人の親子が参加。コメ農家の松本洋一さん（根雨）指導の下、ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘しながら丁寧に植えていきました。

田植え後は、町お試し住宅（舟場）で郷土料理「じゃぶ汁」に舌鼓。海藻米を通じ、海と山の交流が一層深まった一日となりました。

日野の自然を愛する子に育つて

保育園児がアユを放流



元気なアユにびっくり！おっきくなってね

5月16日、黒坂カワコふれあい公園で、ひのっこ保育所の年長児が稚アユの放流（日野町水産振興連合会主催）を行いました。

アユを用意した同連合会の会員らが見守る中、元気よく跳ねる稚アユにびっくりする子どもたち。それに負けないぐらいの歓声を上げながら、「大きくなあれ」と、次々にアユを放流していきました。

今回放流された稚アユは約1万匹。子どもたちに見送られながら元気に泳いでいきました。



優しく教えてもらいながら丁寧に手植え

6月3日、津地地内の畑でひのつこ保育所と津地自治会とのサツマイモ植え交流会が行われました。青空の下、保育所から年中・年長児23人が参加。用意されたサツマイモの苗約300本を津地自治会の皆さんと一緒に植えていきました。毎年続けられているこの交流も今年で20回を数えます。「早くおつきくなつてね!」。園児たちのにぎやかな声が響く中、地域の皆さんも秋の芋掘り収穫祭が今から待ち遠しい様子でした。

サツマイモに負けなくらい大きくなつてね

保育所と津地自治会がサツマイモ植え交流



一緒に歌う喜び・幸せを実感

みんなで声を出して歌うことで元気になってもらいたいと、ホールと共に歩む会（木島泰会長）が、6月2日、町文化センターでサロンコンサートを開きました。今回のコンサートでは、ギターやハーモニカ、オカリナなどさまざまな楽器が登場。昔懐かしい歌謡曲やふるさとの曲を歌ったりしました。特に、旧根雨小学校の校歌が演奏されると、来場者の中には口ずさんだり、笑顔を見せたりする姿も。日ごろのストレスなどを発散し、音楽の楽しさを存分に味わっていました。

空まで響けー音楽の楽しさを届ける

サロンコンサート「みんなで歌おう」



夢は看護師。真剣な表情を見せる高橋さん(左)

5月11日、金持テラスひので、看護の日イベントが開かれました。これは、日野病院が5月12日の「看護の日」に合わせ、毎年行っているもの。当日は、日野高校3年の高橋美里さん（黒坂）が、一日看護局長を務め、来場者に血圧測定などを行い、看護の心を広めました。そのほかにも、肝臓病をテーマにした講演会や健康相談、看護師体験などができるコーナーも。看護師の仕事への理解を深めたり、健康について考える良い機会となりました。

看護の心をみんなに広めたい

日野病院「看護の日」イベント



感謝状を手にする川上さん

5月22日、行政相談委員の川上博史さん（本郷）に、総務省鳥取行政監視行政相談センター所長から感謝状が贈られました。川上さんは、平成27年4月から行政相談委員として、地域住民の暮らしの困りごとなどの解決に尽力。その活動が認められたものです。なお、行政相談は、毎月山村開発センターで行っています。日程は、本紙「くらしのカレンダー」に掲載しているほか、防災行政無線でお知らせしています。お気軽にご利用ください。

行政や暮らしの困りごと解決に尽力

行政相談委員の川上博史さんに感謝状